

ふえぬ風

発行 〒901-1115
 沖縄県南部農業改良普及センター
 TEL : (098) 889-3515
 FAX : (098) 835-6010

平成23年度 南部地区園芸推進講演会が開催された!

平成23年8月25日(木)に、南城市玉城中央公民館において南部地区園芸推進講演会が開催された。

今回の講演会は、主催者である園芸振興推進協議会を代表して、當間和雄会長(南城市産業振興課長)のあいさつで幕開けされた。あいさつでは、「園芸産地の育成は、市町村単位で品目別産地を形成することが重要である。今日の講演が今後の産地作りの参考になるものと期待するとともに、南部地区の生産振興に繋がることを確信している」と期待を述べられた。

講師には、東村役場農林水産課長である山城定雄氏、沖縄県南部農業改良普及センター所長である新崎正信の2名が招かれた。



生産者をはじめたくさんの参加者



東村のブランド化について語る山城氏

山城氏の演題は、「東村におけるブランド化の取り組み」と題して行われた。東村は、平成18年9月にパインアップル(生食用)の拠点産地として認定されており、その時パインのブランド化だけでなく、東村の観光施設等とセットにした地域のブランド化に取り組み販売を強化してきた事等が紹介された。また、地域ブランド発展のポイントとして、「①守りに入らず、地域ブランドを磨き続ける。②価格競争には乗らず、身の丈に合った地域ブランドを追求し続ける。」と述べるなど、拠点産地に取り組む関係者、生産者には興味深い内容であった。

新崎所長の演題は、「沖縄県における台風とその対策～現地事例から学ぶその効果的な防ぎ方～」と題して行われた。特に今年度は再三にわたる台風の襲来、また、南部地区においては5月28日に襲来した台風2号による被害が大きかったこともあり、講演に対する期待は高く熱心に耳を傾ける参加者が多く見られた。その中で、低コストの防風対策として、「①ほ場周囲に防風林・防風垣を設置する。②植物の樹高を「つるおろし」「切戻し」等により低くすること。③ネット等で被覆することにより植物を固定すること」等をあげ、防風対策をしたほ場と対策をしなかったほ場の台風の被害を写真で比較しながら対策の効果について、わかりやすい内容であった。

例年、この催しは各産地の事例発表を中心に行われていましたが、今回は内容を変え園芸推進講演会の開催となった。これまでと違い、講演会みの開催となったが、会場を埋めるほどの参加者(約150名)があり、拠点産地を盛り上げようとする意欲の高さ、台風対策に対する意識の高さが感じられた講演会となった。

(園芸技術普及班 新里)

油断大敵！ やっぱり怖い台風！！

マンゴーの収穫が終わり、来年の結果母枝を育成する時期になりました。近年は台風が本島に上陸することが少なかったため、この時期の主な作業が、お礼肥、枝の整理、吊りひもの片付けだけになっていたのではないのでしょうか。今年は大きな台風が2度も襲来し、台風対策の重要性を実感されたかと思います。自然災害とケンカをするわけにはいきませんが、台風に(勝てないかもしれないけれど)負けないマンゴー作りを目指しましょう。台風対策＝防風対策なので、台風のときだけでなく冬場の北風対策にも活躍するはずですよ。

さあ、畑の外から考えていきましょう。自分の畑を思い浮かべてください。風当たりの強い方角に防風対策が必要です。畑周辺には、防風林や防風垣、防風ネットを設置します。コスト、完成までの時間、耐用年数、維持管理の必要性などに合ったものはどれでしょう？

(表.防風施設の種類)

	コスト	完成時間	耐用年数	管理
防風林	安	非常に遅い	長い	せん定
防風垣	安	遅い	長い	せん定
防風ネット	高	早い	3-4年	張替え

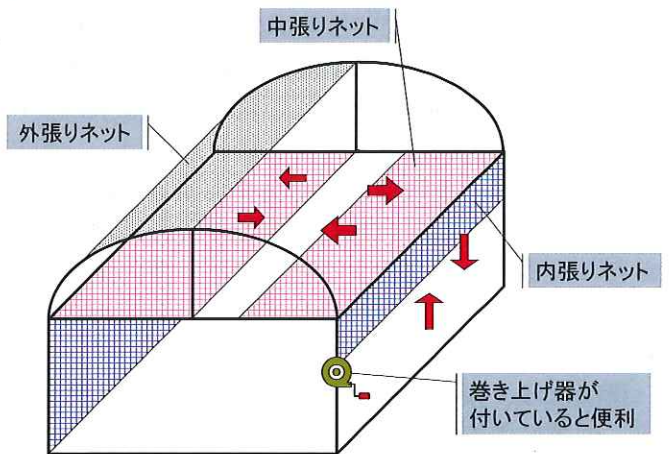
次に、ハウスの被覆資材を考えてみましょう。ビニールを張っているともちろん風は入りませんが、強い台風だとハウス自体がもちません。でも、ビニールをとると落果やキズがついてしまうほどの暴風雨に晒されてしまいます。…ハウスもマンゴーも守るには、風を遮断するのではなく、破風してください。破風とは、風の強さを弱めることです。ネットは風を通しますが、風を弱めることができます。1枚のネット(ハウス被覆のネット)では風を十分に弱めることはできませんが、二重に設置するとさらに風を弱め、ハウスの中は「ちょっと強い風」程度で、落果することはありません。

それでは、二重ネットはどこに設置すると良いでしょう。おすすめはハウス側面とつり棚の上です。これでマンゴーの樹がぐるり2枚のネットで囲まれます。便宜上、ハウス被覆ネットを外張り、側面ネットを内張り、つり棚上ネットを中張りと呼びます。これらを設置すると、二重ネットの破風

効果で果実、樹体を台風から守ることができます。今年の台風2号、9号でほとんど落果しなかったという事例があります。

紹介した二重ネットによる台風対策は、ある程度

二重ネットの設置例



風に耐えられるハウス強度が前提で、小型のパイプハウス等では補強が必要です。ハウス補強の例としては、足場パイプを用いて、3mおきのアーチに追加する、3m間隔で中央に支柱を立てる、前後の妻面と支柱をクランプで接続する等の方法があります。

祝!! 八重瀬町マンゴー拠点産地認定!!

8月2日に八重瀬町がマンゴー拠点産地に認定されました。拠点産地に認定されたことで、よりいっそう高品質果実生産への意欲向上が期待できます。



(園芸技術普及課 諸見里)



つる性サインゲンの基礎的な栽培管理



●つる性サインゲン

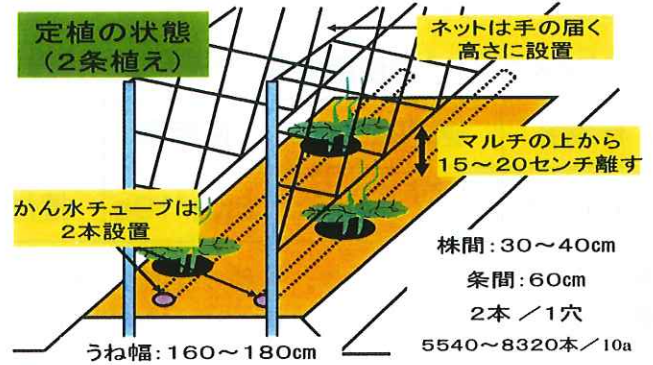
サインゲンの生育適温は15～25℃で、12℃以下になると不稔^{ふねんさや}が増え、風速5m以上になると生育に障害が出ます。冬場はこれらの対策として、ネットによる被覆やビニール被覆を行いましょ。葉は展開して、20～30日が働きのピークです。下葉、老葉から摘葉し、通気や採光をよくすることで、病害虫予防につながります。

1 畦立てについて

播種1ヶ月前に堆肥約2.5t/10a、2週間前に基肥を右側4の表の施肥基準例に合わせて施用します。その後、下図のように畦立てを行います。

3 仕立てについて

2条植えの場合の基本的な仕立ては下図のようになります。

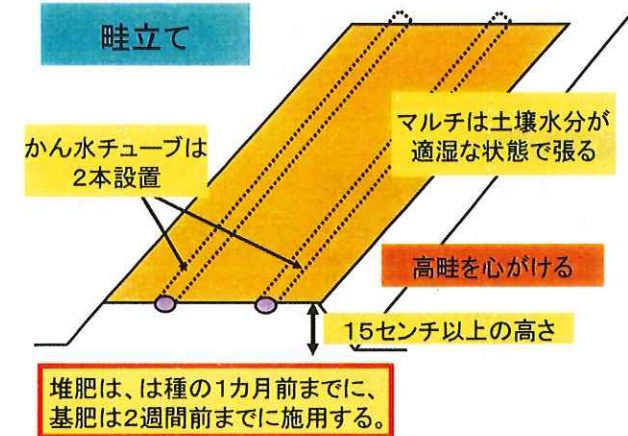


4 サインゲンの施肥・追肥基準例について

施肥・追肥の基準例は下表のとおりです。追肥については、本葉展開時、開花時、収穫最盛期直後の3回（樹勢を見ながら）行うとよいでしょう。

沖縄県の施肥基準 (Kg/10a) つる性インゲン

	基肥	追肥1	追肥2	追肥3	計
堆肥	2,500	—	—	—	2,500
チッソN	21	5	7	7	40
リン酸P	20	3	4	4	31
カリ K	17	4	5	5	31
備考	*追肥時期の目安 1回目: 本葉展開時 (根張りのためリン安液肥など施用) 2回目: 開花時 3回目: 収穫最盛期直後 (収穫開始から10～20日) ゴヤーよりも肥料多い				



2 は種と間引きについて

は種と間引きの基本は下図のとおりです。サインゲンは発芽の際の酸素要求量が多いので、前日或いは2日前灌水を行い、発芽までの灌水は控えめに行うと良いでしょう。

は種と間引き



- 前日までに土を湿らせておく
- 1穴3粒まき(新しい種子)
- 覆土は、発芽不良や不揃いがないよう薄めに行う
- 粒剤処理: 初期の害虫対策(ハモグリバエ等)は確実にを行う

本葉が1、2枚の頃、異常葉や生育の劣るものを間引き、1穴2本に。



5 収穫と摘葉について

収穫と摘葉

- ◎収穫: 適期収穫(Mサイズ)に務め、早め早めの収穫を。(全作業時間の50～70%)
- ◎先に付いたサヤに光合成産物が優先的に分配される。収穫遅れのサヤなど商品価値のないものは早く取り除く。

◎摘葉: 葉は展開して20～30日頃働きのピーク。下葉、病葉、老葉から摘葉する。一度に多くとらない。通気や採光を良くする、病害虫の発生防止につながる。

6 菌核病について

低温多湿時に発生しやすくなりますので、12月中・下旬頃から予防的に薬剤散布することをお勧めします。

(園芸技術普及班 嘉数)

かんしょの イモゾウムシ・アリモドキゾウムシに 殺虫剤『プリンスベイト』が適用拡大されました!

さとうきびの殺虫剤として使用されている『プリンスベイト』が、平成23年5月より「かんしょ」のイモゾウムシ・アリモドキゾウムシの防除にも使えるようになりました!



イモゾウムシ



アリモドキゾウムシ



『プリンスベイト』の使用方法(かんしょ部分のみ抜粋)

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フィプロニルを含む農薬の総使用回数
かんしょ	アリモドキゾウムシ イモゾウムシ	6Kg/10a	植付時	1回	植溝処理土壌混和	1回

- 植付時に使用する場合は、本剤の所定量を均一に植溝へ処理し、土壌混和してください。
- 本剤の使用にあたっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないよう注意してください。

(BASFジャパン株式会社HPより抜粋)

かんしょ栽培においてイリムサー対策は重要です。イモゾウムシやアリモドキゾウムシに食害されると、イモは苦くなり食べられなくなりますので、しっかりと対策しましょう。

<耕種的防除>

- クズイモやつるを畑に放置したままにすると、ゾウムシの発生源となり、被害が増加するためきちんと片付ける。
- 被害低減を図るため連作をしない。

<薬剤防除>

- 植付時に使用できる農薬
プリンスベイト、アドバンテージ粒剤
- 生育期に使用できる農薬
ガゼット粒剤、オンコル粒剤、ダズバン粒剤
- ※農薬の使用にあたっては、最新の農薬登録情報を確認してお使いください。

かんしょのイモゾウムシ・アリモドキゾウムシ登録農薬の使用方法

農薬の種類	農薬の名称	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	備考
カルボスルファン粒剤	アドバンテージ粒剤	6~9Kg/10a	植付時	1回	植溝処理土壌混和	カルボスルファンを含む農薬の総使用回数4回以内(植付時の土壌混和は1回以内)
カルボスルファン粒剤	ガゼット粒剤	6Kg/10a	生育期(但し、収穫45日前まで)	4回以内	株元散布	
ベンフラカルブ粒剤	オンコル粒剤5	6Kg/10a(1g/株)	生育期	3回以内	株元散布	
クロルピリホス粒剤	ダズバン粒剤	6Kg/10a	生育期(但し、収穫30日前まで)	2回以内	株元散布	

★★★ 防除に関するお願い ★★★

久米島では現在、アリモドキゾウムシの根絶事業が実施されています。沖縄県では条例により、久米島へのかんしょ(イモ・莖葉)やエンサイ(ウンチェーバー)の持ち込みを規制し、アリモドキゾウムシの再侵入・まん延防止を図っています。皆さまのご理解とご協力をお願いします。

(地域特産振興班 目取眞)

肉用牛子牛飼養管理マニュアルを作成しました

【目的】

哺乳期に栄養不十分により発育不良や疾病（下痢や肺炎）が長引き、体重を取り戻すために出荷前に濃厚飼料をたっぷり与えることが原因で、体重はあるけれども体高の低い過肥気味の子牛がセリで上場され、期待した販売価格にならない状況を目にします。

このような状況を改善するため、肥育素牛の購買者の意見も参考にしながら県内の畜産担当普及指導員および広域普及指導員と連携し、これまで普及センターでの実証展示圃や調査研究および畜産研究センターの研究成果等を参考に、子牛飼養管理マニュアルを作成しました。

濃厚飼料を効率的に給与し、出荷前には良質粗飼料を十分量給与することで過肥になりにくい目安（給与量、体高および体重等）を表示しています。

【ポイント】

①哺乳期間中（0-3ヶ月齢）は母乳のみでは不十分なため、人工乳（固形）の給与が重要です。きれいで十分な量の飲み水がないと人工乳を食べてくれません。重要な第1胃の壁が、下図の右上の写真（黒っぽい）のようにヒダがしっかり充実し、「腹づくり」のための重要な準備が整います。

②6ヶ月齢までは、濃厚飼料の割合を多くして栄養充足を図ります。

③出荷前の7ヶ月齢以降は粗飼料の割合を増やし過肥を避けます。

【お知らせ】

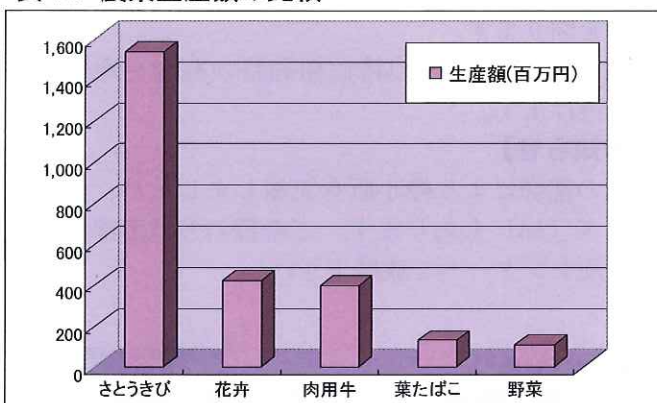
紙面の都合により縮小版を記載しましたが、大きいサイズ（A3）もあります。ご希望の方は南部農業改良普及センターへご連絡下さい。

肉用牛・子牛飼養管理マニュアル (2010年度版)										作成：沖縄県農業改良普及指導員 肉用牛研究会			
子牛の出荷目標										生後6週齢の第1-2胃		生後12週齢の第1胃	
去勢 体重275kg 体高113cm		雌 体重250kg 体高110cm		ミルクのみ給与		ミルクと濃厚飼料を給与		ミルクと乾草を給与		ミルクと乾草と濃厚飼料を給与			
管理のポイント										http://www.kaspu.edu/research/extension/industry/nutrition/cattle/health/nutrient		第一胃の絨毛がよく発達している。	
初期：下痢は子牛の大敵！早期発見、早期治療を！ 中期：発育に応じた飼料給与を！ （全期間を通じて毎日の新鮮な水の給与と、衛生的な子牛の管理を忘れずに行いましょう。） 活力のある子牛づくりを目指そう。										後期：スターターを与え、丈夫な骨格と骨格に！！ 後期：育成飼料と良質粗飼料をバランス良く給与！！		乾草のみの給与では、12週齢になっても第1胃の絨毛がきちんと発達していない。	
月齢	0	1	2	3	4	5	6	7	8				
人工乳 (カ-729-7)	0.2~0.5			0.5~1.5		1.5~2							
子牛育成飼料 (去勢：上段、雌：下段)	※2週間以上かけて、育成飼料に切りかえましょう。												
良質乾草 (乾燥物CP8%、TDN55%以上)	慣らし飼育												
体高 (cm)	去勢 73	雌 80	86	92	96	98	102	106	110	113			
胸囲 (cm)	去勢 77	雌 88	99	109	118	122	130	137	144	151			
体重 (kg)	去勢 39	雌 57	78	104	133	148	178	210	242	275			
発育ステージごとの飼養管理	初期 (環境適応期)		前期 (骨格・胃袋づくり期)				中期 (骨格・胃袋づくり期)			後期 (出荷調整期)			
申込み・届け出	初乳摂取の確認 (少なくとも産後3日以内)		子牛登記 (出生後2ヵ月以内)		離乳		去勢		鼻環通し		出荷前の手入れ・別種個体識別番号と登録証を確認		
衛生管理プログラム	分挽届 (出生後10日以内)		子牛登記 (出生後2ヵ月以内)		離乳		去勢		鼻環通し		市場申し込み		
日齢	0	30	60	90	120	150	180	210	240				

離島情報 久米島

久米島町の農業は、さとうきびを中心に、花卉（キク栽培）、肉用牛繁殖、野菜、葉たばこ、果樹が生産されており、品目の多様化と他作目との複合経営が進んでいます。最近では、ゾウムシ類の根絶事業によりかんしょ栽培農家や栽培規模が増加傾向にあります。

表 1. 農業生産額の比較



(資料：「久米島町H22年度産業の概況」より)

基幹作物であるさとうきびの平成22/23年期の生産実績は61,797 t の生産量でした。

表 2. H22/23年期製糖実績

作 型	面積(a)	反収(t)	生産量(t)
夏植え	17,566	7,894	13,870
春植え	18,428	5,306	9,779
株出し	70,874	5,383	38,148
全 体	106,868	5,783	61,797

(資料：久米島製糖株式会社より)

栽培品種の上位3品種の割合は農林21号が65.2%を占め、次いで農林17号が18.8%、農林25号が3.0%となっています。今年の春植えでの農林21号の割合は8割を超えているため、今後さらに増加する傾向にあります。

農林21号は発芽が悪い特徴を持ちますが、生産者の皆さんは苗の水浸漬時間を工夫したり、植え付け数を工夫するなどしています。

展示圃の取り組み

久米島町では普及センターが行っている展示圃が今年度2件あります。

1. 優良種苗の導入によるかんしょの収量及び品質向上

「かんしょ種苗緊急対策モデル事業」の実証展示圃として、農業研究センターで培養された茎頂培養苗の導入を行い、自家採苗との比較栽培を行っています。同町では現在、イモゾウムシ・アリモドキゾウムシの根絶事業が展開されており、島内へのかんしょやエンサイ(ウンチューバー)などの持込が厳しく規制されています。そのような中、培養苗の導入は優良なかんしょ品種がスムーズに普及できるような取り組みが必要、ということで検討されています。



写真：培養苗の育苗



写真：8月の生育状況

2. 冬季の粗飼料自給率向上

「産地を支える農業改良普及活動事業」の実証展示圃として、寒地型牧草の「さちあおば」栽培実証を行いつつあります。「さちあおば」はイタリアンライグラスという沖縄では冬季に生育旺盛になる冬作牧草であり、県の奨励品種です。畜産農家が栽培している暖地型牧草のギニアグラスやローズグラスと比較して栄養価が高く、10月播種で3月までに2回刈取りが可能です(4月以降は暖地型牧草へ更新)。

同町は平成22年12月に子牛拠点産地の認定を受けています。展示圃では生産性の低下した草地を秋に更新し、冬場の牧草を確保しながら、次期の春に暖地型牧草へ速やかに更新し、自給粗飼料の増産・確保を図り、さらに安定した畜産経営を目指しています。



(久米島駐在 長谷)

認定農業者になろう!

家族経営協定を結んで共同経営者である女性や後継者も認定農業者になろう!

認定農業者制度とは

認定農業者制度とは、意欲と能力のある農業者が自らの経営を計画的に改善するため、「**農業経営改善計画**」を作成し、市町村が認定する制度です。認定農業者は、スーパーL資金等の長期低利融資制度、農地流動化対策等、国や県、市町村等から支援が受けられます。

認定の手続き

「**農業経営改善計画書**」を作成し、市町村の窓口へ提出します。農業経営改善計画書の提出を受けた市町村は、基準に沿って計画の内容を審査し、適切な計画について認定します。

農業経営改善計画の作成

農業経営改善計画には5年後の目標とその達成のための取組内容を記載します。

- ①経営規模の拡大（経営面積を大きくしたい。）
- ②生産方式の合理化（農業生産の無駄を省きたい。）
- ③経営管理の合理化（コスト管理をしたい。）
- ④農業従事の態様の改善（労働時間を少なくしたい。）

認定基準

- ①計画が市町村基本構想に照らして適切なものであること。
 - ・310～360万円以上の農業所得
(各市町村によって異なります。)
 - ・2000時間の労働時間

- ②計画が農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために、適切なものであること。
- ③達成できる計画であること。

5年後には再認定が必要

農業経営改善計画の有効期間は5年間です。期間（5年間）が満了する場合には、これまでの経営改善の実践結果を踏まえた上で新たな目標に向けた農業経営改善計画を作成し、再度、市町村の認定を受けることが必要です。

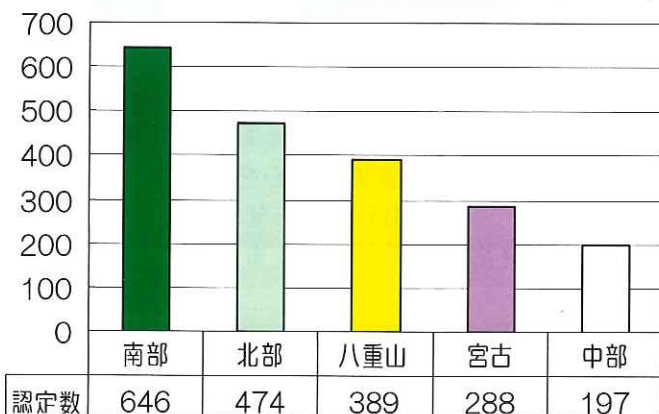
期限が切れると、補助金の返還等の対象となる場合があります。資金借入等を行っている場合、利子助成が受けられなくなり、繰上償還の対象となる場合がありますので、認定者は自分の期間があと何年残っているのかご確認ください。

家族経営協定を結んで女性や後継者も認定農業者になろう

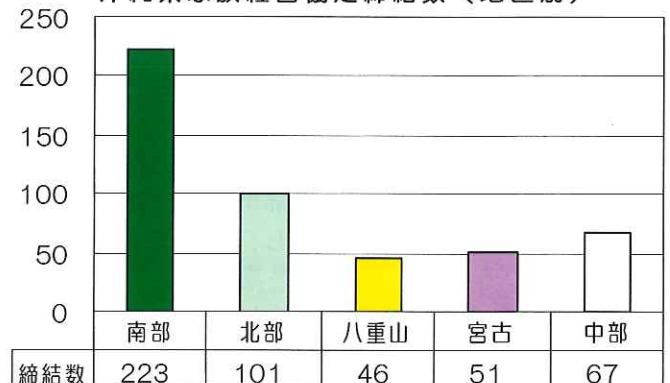
認定農業者共同申請

家族経営協定を結び、経営主以外の農業配偶者や農業後継者等が共同経営者となっていれば、複数の者による農業経営改善計画の認定の共同申請が認められ、夫婦や親子で認定農業者になることができます。家族経営において実質的に共同経営者としての役割を担っている女性農業者や農業後継者についても認定農業者として位置づけることは、共同経営者としての地位や責任が明確になり、経営者としての自覚や経営に対する意識が向上するとともに、それによって効率的で安定的な農業経営の実現が期待できます。

沖縄県認定農業者数（地区別）



沖縄県家族経営協定締結数（地区別）



新規就農者
紹介コーナー

がんばれ! NEWファーマー — 糸満市 —

今回のNEWファーマーは、^{すぎもと かつのぶ}杉本雄靖さん(31歳)。レタス、ゴーヤー、ニンジン、小ギク、パッションフルーツの拠点産地である糸満市でトルコギキョウと葉菜類を栽培(60a)しています。

農業後継者として生まれ育った杉本さんは、両親の勧めにより県立農業大学校に入学しました。「教えてもらえるということは、とても幸せなこと。学生生活を通してネットワークが出来ました」と話す。卒業後は、同級生と共に農家実務研修を1年間行い、実践的技術の習得に努めてきました。今年4月から両親の元に戻り、頑張っています。



「トルコギキョウは、市場に出荷しています。収穫は、1月頃から始まりますが、卒業式・入学式・母の日・結婚式等月毎の行事に合わせた出荷体制に力を入れています」と経営者らしく話していました。

将来は、「販路の拡大や雇用の導入など、農家としてビジネス感覚も身につけたい。市場や需要の情報収集など営業努力が出来ることが理想です。また、収穫物はなるべく全て売れるような品質を向上していきたい」と目指すべきビジョンを語られていました。



(普及企画班 橘)



女性のみなさん、もっと経営や社会に参画しましょう!!



あなたは経営参画、社会参画していますか？女性はつつい引込み思案になりがちですが、どんどん女性の考えや意見を発信することで、農業経営や地域農業がもっとよくなりますよ！

政府の男女共同参画に関する目標には、「2020年までに指導的地位に女性が占める割合が少なくとも30%程度になるように期待する」とあります。

沖縄県としても、平成24年度までに農業関連審議委員に占める女性の割合を40%、農業委員に占める女性の割合を12.6%にまで増加させることを目標としています。

では、南部地区の女性の参画状況はと言いますと、農業関連審議委員に占める女性の割合は13.6%、農業委員は7.3%と、目標にはまだまだ届いていないのが現状です。

そこで、南部地区農村女性連絡会は、女性の役職登用促進に関する要請文を南部地区の全市町村長、議会議長、JA支店長等へ送付し、同連絡会の中山美代子会長が7月29日、沖縄県農業協同組合代表理事の砂川博紀理事長を訪問し、女性の役職登用促進に

ついて要請しました。砂川理事長は「女性のパワーはすごい。女性の農業委員がもっと増えて活躍して欲しい。そのためにも女性自らも手を挙げて欲しい」と、理解を示してくださっています。



このように、現在は女性がやりたいと言えば指導的地位に就けるようなバックアップの体制が整いつつあります。ですから、まずはあなた自身が自分の農業経営や、地域の農業に関心を持って、小さくてもいいから一歩踏み出してみませんか？

きっと、素敵な世界が広がりますよ☆

(普及企画班 濱盛)

前号の訂正をお願いします。

平成23年6月(第110号) ふえーめ風3ページ左側5行目の表、「環境保全型農業を推進するための認証制度」中、特別栽培農作物の認証対象は「人」となっておりましたが、正しくは「物」です。訂正してお詫びします。(再配布用については訂正済みです)
(地域特産振興班 伊福)